

2017年9月
No.17-123a(山)※1

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目につきまして本年9月末より検査試薬および基準値等を変更させていただきましたことになりましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。
敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
105	5749	IgE-CAP16 花粉症・鼻炎	検査試薬	FEIA [サーモフィッシュャーダイ アグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシュャーダイ アグノスティックス]	アレルゲン 16種のうち、ブタクサのみ改良試薬へ変更
105	5750	IgE-CAP16 アレルギー性喘息		FEIA [サーモフィッシュャーダイ アグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシュャーダイ アグノスティックス]	同一メーカーの改良試薬への変更
107	5073	特異的 IgE ブタクサ	検査試薬	FEIA [サーモフィッシュャーダイ アグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシュャーダイ アグノスティックス]	同一メーカーの改良試薬への変更
-	4049	農薬スクリーニング	検査対象農薬	別掲参照 (22成分)	別掲参照 (37成分)	検査対象農薬の見直し
-	-	プレセプシン	検査方法	CLEIA [LSIメディエンス]	CLEIA [LSIメディエンス]	全自动分析装置用試薬の採用
-	-		基準値	敗血症(細菌性) 診断のカットオフ値 500 pg/mL	314 pg/mL 未満 (敗血症診断の カットオフ値 500 pg/mL)	
-	-		報告下限	50.0 pg/mL 未満	20.0 pg/mL 未満	

※その他の検査要項に変更はございません。

■変更期日

●2017年9月30日(土)受付日分より

IgE(特異的) ブタクサ

特異的IgE ブタクサの検査試薬を同メーカーが販売するより高感度な改良試薬に変更いたします。改良試薬はブタクサ花粉の抽出工程の改良により、ブタクサ特異的IgEとの反応性が向上しています。なお、本変更に伴う基準値の変更はございません。

■新旧二法の相関

[判定一致率]

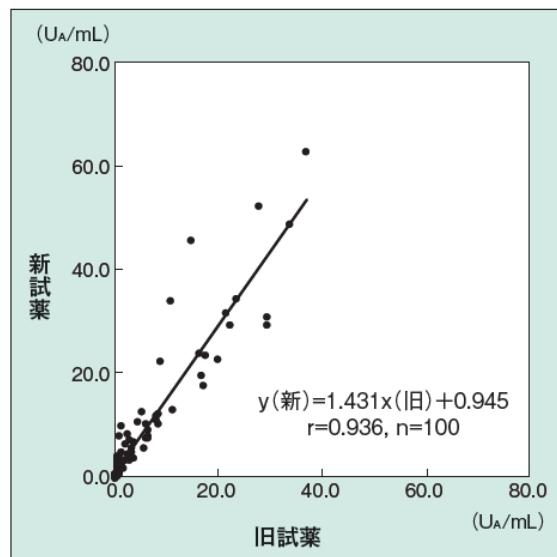
		n=100						
		0	1	2	3	4	5	6
新試薬	0	11						
	1	13	3					
	2	1	10	18				
	3	3	10	15				
	4			7	7			
	5					2		
	6							

陽性一致率: 100.0% (59/59)

陰性一致率: 44.0% (11/25)

判定一致率: 54.0% (54/100)

[測定値]



(LSI メディエンス検討データ)

農薬スクリーニング

農薬スクリーニングの検査対象農薬を下記のように37成分から22成分に変更いたします。なお、分析対象から除外する成分は登録が失効している農薬であり、検査委託先での確認において事故事例は報告されておりません。また、来年4月には、検査法をGC-MSからLC-MS/MSへの変更を予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。

■農薬分析対象薬

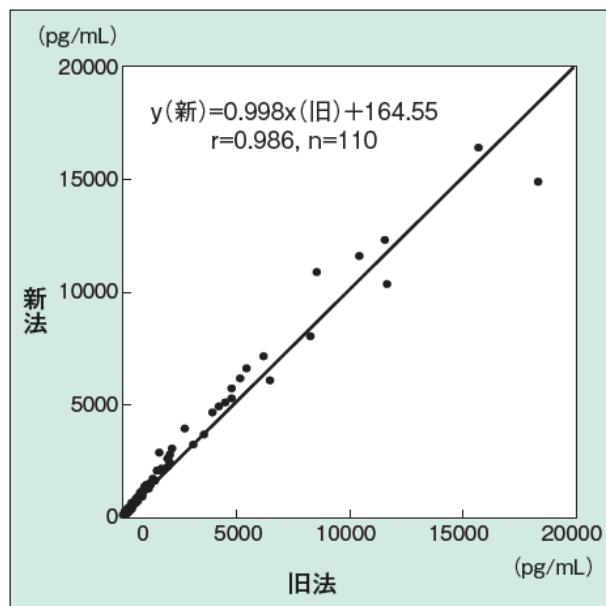
新	旧
スミチオン(MEP)	スミチオン(MEP)
マラチオン	マラチオン
CYAP	<u>サリチオン</u>
エチルチオメトン	CYAP
EPN	<u>チオメトン</u>
ダイアジノン	エチルチオメトン
MPP	EPN
メチダチオン(DMTP)	ダイアジノン
イソキサチオン	MPP
ピリミホスメチル	<u>CYP</u>
DDVP	<u>パラチオン</u>
トリクロルフォン(DEP)	メチダチオン(DMTP)
フェンバレレート	イソキサチオン
シペルメトリン	ピリミホスメチル
ペルメトリン	DDVP
メトリブジン	トリクロルフォン(DEP)
シマジン(CAT)	<u>α-ベンゾエピン</u>
フェノブカルブ(BPMC)	<u>γ-BHC</u>
カルバリル(NAC)	ディルドリン
メソミル	アルドリン
アラクロール	エンドリン
プロパニル(DCPA)	<u>ニトロフェン</u>
	<u>クロルデン</u>
	DDT
	DDD
	DDE
	フェンバレレート
	シペルメトリン
	ペルメトリン
	メトリブジン
	シマジン(CAT)
	フェノブカルブ(BPMC)
	カルバリル(NAC)
	メソミル
	アラクロール
	プロパニル(DCPA)
	<u>PCP(ペンタクロルフェノール)</u>

※下線は分析対象から削除。

プレセプシン

プレセプシンの測定試薬を全自動分析装置用試薬に変更いたします。本変更に伴い、基準値を敗血症(細菌性)診断のカットオフ値に変更いたします。

■新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)